

「だれもが誇れる学校～自信と信頼に満ちた学校～」

令和6年8月26日(月)



# 杉中だより

令和6年度  
No.5



ブログ携帯サイト

「じりつ(自立・自律)・共生・チャレンジ」

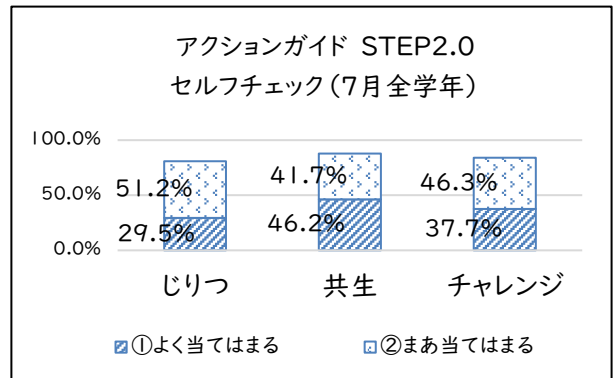
枚方市立杉中学校 TEL: 050-7102-9240 FAX: 072-858-8985

## 二学期のスタートにあたって(始業式の校長講話 一部抜粋)

みなさんは長かった夏休み、どのように過ごしたのでしょうか。どんなことが印象に残ったでしょうか。私について言うと、この夏のメインピックは「オリンピック」でした。連日、伝えられる世界各国の選手たちの活躍やメダルを授与される場面、一方で、メダル獲得を有力視されながらも、敗戦や思わぬ結果に涙する選手たち…。中には、「こんな競技もあったのか!」と、自身には馴染みのない競技での日本人選手の活躍…。いずれにも大きな感動をもらえたことに感謝の気持ちがあふれる、そんな夏休みを過ごしました。この後、28日からはパラリンピック大会が開催されます。みなさんも知っているとおり、様々な障がいのあるトップアスリートたちが、創意工夫し限界に挑む国際競技大会です。多様性を認め、誰もが個性や能力を発揮し活躍できる場であり、共生社会を具現化するヒントが詰まっている大会ともいわれます。学校が始まっている中で、リアルの中継で観戦することが難しくなりますが、報道や新聞で競技結果を追いかけてつ、その選手がなぜその障がいを持つことになったのか、また、いかに世界のトップアスリートへと成長したのかにも触れながら、年齢、性別、人種や宗教の違いなど多様な人が豊かに活躍できる社会について考えたいものです。

さて、二学期が始まるにあたり、改めて「学校教育目標」について話をします。

学校教育目標「じりつ・共生・チャレンジ」について、一学期終業式で、アンケート結果の概要を説明し、特に「共生」については、その意識や自認度が高いといった分析を伝えたところです。改めて、これは杉中学校の「強み」です。



ここで、みなさんの力をより確かなものとし、この学校が真に誇れる学校になるために、次のミッションを伝えます。皆さんには、学校教育目標を、より意識して行動するとともに、加えて、やってほしいことがあるのです。それは自分を客観視して「振り返り」を行ってほしいのです。

折しも、二学期は大きな学校行事：「文化祭」と「体育祭」があります。ここでまさにみなさんの力が試されます。まずは、「じりつ」です。皆さんが主体的に行動してください。「先生に言われたから」「ほかの人もそうしているから」ではなく、自分が学校行事を成功させる担い手であると、当事者意識をもって行動してください。次に「共生」です。全員参加で、生きいきと行事を楽しみましょう。楽しめない場合は、皆さんの中に、その原因となる「壁」ができてしまっていることがあります。それを取り除くために、しっかりとコミュニケーションをとりましょう。ここでは3つめの力も試されます。未知の壁を取り除いたり、対話を行ったりすることは不安もあることと思います。臆せず「チャレンジ」する力が求められます。

ここまでなら今までと同じです。ここからが肝となります。みなさんは、様々な場面で学校目標を意識して行動し、3つのキーワード(じりつ・共生・チャレンジ)で自身の行動の「振り返り」を行ってください。加えて、仲間の行動に対しても、積極的に承認し、それを伝えていってほしいのです。これらを実行することが、次なるミッションです。

2学期末には、1学期同じ行動指標でセルフチェックを行う予定です。みなさんの成長を共有できることを願っています。